

令和3年1月18日

**第27回新型コロナウイルス感染症に係る「青森市危機対策本部」
及び第2回「青森市豪雪災害対策本部」 本部長指示**

1月14日に発生した高校でのクラスター及び関連する地域活動でのクラスター等については、引き続き濃厚接触者等についての積極的疫学調査及び健康観察を実施し、感染拡大防止を図るとともに、並行して新型コロナウイルスワクチンの接種について、速やかに接種体制を整える必要があります。

また、1日20cm以上の降雪が4日間降り続き、1月中の降雪としては過去30年に例を見ない急激な降雪に伴い、1月11日青森市豪雪災害対策本部を設置し、除排雪事業者の皆さまの連夜の出動により除排雪を進めてまいりましたが、今後の降雪にも備え、十分な除排雪経費を準備する必要があります。

このため、新型コロナウイルスと豪雪という二つの災害から本市を守るため、以下の対応を指示します。

- 新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について、2月末以降の医療従事者や65歳以上の高齢者への接種開始を目指し、必要な予算を計上すること。
- 災害級の降雪による雪害に対応し、過去最大の除排雪経費を措置し、今後の降雪に対する除排雪を行うため、必要な予算を計上すること。

市民の皆さまにおかれましては、当該クラスターの全ての関係者について把握し、速やかなPCR検査を行っておりますので、冷静な対応をお願いしますとともに、特に10代の子ども達を中心とした発生であることから、個人の特定や誹謗中傷を行うことのないよう改めてお願い申し上げます。

また、今般の豪雪にあっては、除排雪を著しく上回る降雪が続き、大変なご不便をおかけいたしました。除排雪事業者の皆さまにあっては、12月末から続く連日の出動に心から感謝申し上げます。災害級の降雪から市民の暮らしを守るため、除排雪経費については、今後も躊躇なく投入し、総力戦で臨んでまいりますので、ご理解くださるようお願いいたします。